

委員長

名古屋工業大学名誉教授・プロジェクト教授

山本 幸司 やまもと こうし

過去2年間よりも応募件数が増えたことに感謝申し上げます。今回は自然災害への防災・減災に関する住民活動が多かったことが特徴といえる。厳正な審査結果として顕彰の栄を受けられた6団体を含め、応募頂いた各団体の日頃の熱心な活動に心より感謝いたします。

副委員長

三重大学名誉教授

渡邊 悌爾 わたなべ ていじ

今回は、防災関係で持続的にすぐれた取組が目立った。中でも過去の大水害の経験を語り継ぐ中で、自主的な活動に取り組む中学校の事例は特筆される。今後とも、創造的な人材育成が地域で連携して進むことを期待したい。

委員

駿府静岡歴史楽会事務局代表

竹内 礼子 たけうち れいこ

現地調査で実際の活動に触れてみて、誰が考えても良いことだと思う事でも課題があり、関係各位の協力を得るまでの努力には敬服しました。でも活動を続けてきた実績はこれからの地域の大きな活力になると思います。



選考を終えて

(表彰委員より)

委員

中日新聞社事業局長

山口 宏昭 やまぐち ひろあき

どの地域もその特性を活かした活動で、またなくてはならないものが多かったことに驚きであった。特に東日本大震災を機に自主防災に取り組む活動は中部全域で「地域づくり」にも役立つと期待する。

委員

名古屋大学大学院教授

森川 高行 もりかわ たかゆき

中部地方においても防災関係の申請が相対的に増えてきた。とくに子供を巻き込んだ事例がいくつか見られ、とても重要なことだと思う。若い彼らが生涯その活動を続け、また次の世代に伝えて行くことを期待したい。

委員

(一社)中部経済連合会常務理事

菅原 章文 すがわら あきふみ

今回は防災・減災に対する自主的な取組事例が多く見られ、「自分たちのことは自分たちで守る」という防災意識が各地域に浸透していることを心強く感じました。

各団体の継続的な活動が、より良い地域づくりにつながることを祈念いたします。

委員

中部地方整備局長

梅山 和成 うめやま かずしげ

今回、応募された活動の特徴として「東日本大震災」を教訓とし、中学生や自主防災会が主体となり地域と密着した「自助」、「共助」の活動による成果を上げているものが数多く見受けられました。

また、他の活動においても小中学生を含め地域住民が一体となった活動が展開されており、将来を担う「若い力」が育っていることに大きな希望がもてました。

中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

岡崎市

浜松市

名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人

水資源機構 中部支社

地方共同法人

日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人

都市再生機構 中部支社

公益社団法人

土木学会 中部支部

社団法人

中部建設協会

社団法人

日本建設業連合会 中部支部

一般社団法人

建設コンサルタンツ協会 中部支部

社団法人

長野県建設業協会

一般社団法人

岐阜県建設業協会

一般社団法人

静岡県建設業協会

一般社団法人

愛知県建設業協会

一般社団法人

三重県建設業協会

株式会社中日新聞社

後援／一般社団法人

中部経済連合会